

2026年4月

県内企業の景況意識調査

(第196回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2026年 1～3月期〈I期〉の実績見込み

* 2026年 4～6月期〈II期〉の見通し

3期ぶりの悪化

今期（2026年1～3月期〈I期〉）の業況判断BSIは、前期比14.5ポイント低下の▲13.3となった。業種別のBSIは『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』のすべての業種で悪化した。

受注減少により製造業が悪化し、全体でも3期ぶりに悪化した。なお、改善した業種がなかったのは、第188回（2024年1～3月期）調査以来、2年ぶりである。

来期（2026年4～6月期〈II期〉）の業況判断BSIは、今期比5.7ポイント上昇の▲7.6となる見通し。業種別のBSIは『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』の4業種で改善、『サービス業』の1業種で悪化、『運輸業』は今期比不変の見通しである。

一部自動車メーカーの生産回復を背景に製造業の改善が見込まれており、全体の業況判断BSIも改善する見通し。

* 2026年 1～3月期〈I期〉の実績見込み

製造業……………3期ぶりの悪化

卸・小売業……………卸売業は悪化、小売業は前期と同水準

建設業……………3期ぶりの悪化

サービス業……………2期ぶりの悪化

3期ぶりの悪化

◎業況判断

【今期】 (2026年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲13.3 (前期比▲14.5㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 10.7% (前期比▲ 8.1㊦)
- ・悪くなった 24.0% (前期比+ 6.4㊦)
- ・変わらない 65.3% (前期比+ 1.7㊦)

＜業種別＞

- ・前期比悪化：6業種 (『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業])

今期の業況判断BSIは、受注減少により製造業が悪化し、全体でも3期ぶりに悪化した。なお、改善した業種がなかったのは、第188回(2024年1～3月期)調査以来、2年ぶりである。

【来期】 (2026年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲ 7.6 (今期比+ 5.7㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 13.9% (今期比+ 3.2㊦)
- ・悪くなる 21.5% (今期比▲ 2.5㊦)
- ・変わらない 64.6% (今期比▲ 0.7㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：4業種 (『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業])
- ・今期比悪化：1業種 (『サービス業])
- ・今期比不変：1業種 (『運輸業])

来期については、一部自動車メーカーの生産回復を背景に製造業の改善が見込まれており、全体の業況判断BSIも改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 9.6 (前期比▲22.9㊦)

全業種で悪化

収益BSI：▲17.1 (前期比▲20.1㊦)

全業種で悪化

【来期】

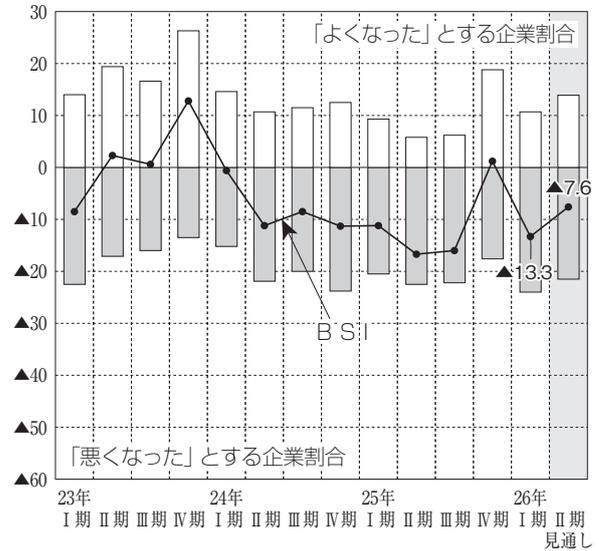
売上高BSI：▲ 2.7 (今期比+ 6.9㊦)

4業種で改善見通し

収益BSI：▲11.1 (今期比+ 6.0㊦)

3業種で改善見通し

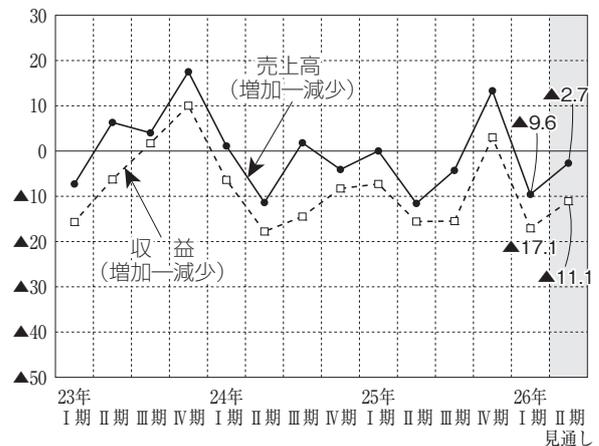
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2025年 III 期	2025年 IV 期	2026年 I 期	2026年 II 期見通し
建設業	0.0	0.0	▲ 5.6	▲ 5.5
製造業	▲15.5	▲ 8.9	▲25.7	▲10.1
卸・小売業	▲27.8	▲ 2.7	▲ 8.9	▲ 5.3
金融・不動産業	0.0	0.0	▲25.0	▲14.3
運輸業	▲ 7.7	7.1	▲20.0	▲20.0
サービス業	▲20.7	21.2	0.0	▲ 2.6
全 産 業	▲16.0	1.2	▲13.3	▲ 7.6

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 9.4 (前期比▲ 5.7%)
3業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲40.6 (前期比▲ 0.7%)
1業種で低下

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 7.3 (今期比+ 2.1%)

◎経営上の問題点

- 1位: 「人手不足」(25.1%)
- 2位: 「原材料仕入価格高騰」(18.6%)
- 3位: 「売上不振」(18.0%)
- 4位: 「人材不足」(14.4%)

業種別にみると、「人手不足」と回答した割合は、『建設業』が48.3%と最も高い。「原材料仕入価格高騰」は『金融・不動産業』で42.9%と特に高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 39.3% (前期比▲ 4.3%)
4業種で低下

<投資目的>

- 1位: 「補修・更新」(61.8%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(13.2%)
- 3位: 「合理化・省力化」「その他」(8.8%)

【来期】

実施予定企業の割合: 37.1% (今期比▲ 2.2%)
5業種で低下見通し

<投資目的>

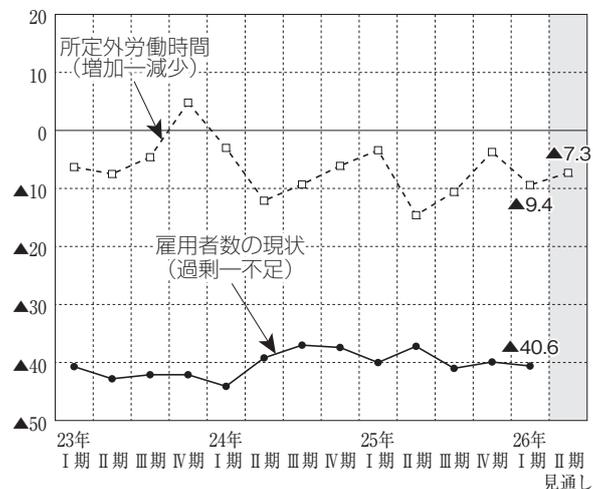
- 1位: 「補修・更新」(69.5%)
- 2位: 「合理化・省力化」(8.5%)
- 3位: 「生産能力の拡大・売上増加」「福利厚生」(6.8%)

◎「令和8年度(2026年度)の採用予定」について

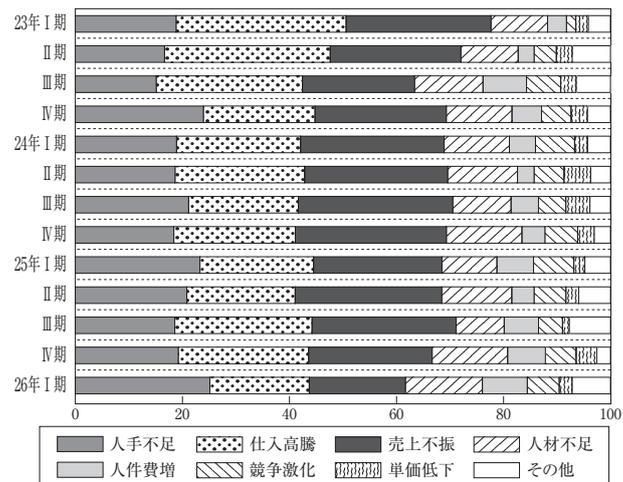
今回の調査において、「令和8年度(2026年度)の採用予定」について尋ねたところ、「中途採用を予定」が45.4%、「新規学卒者の採用を予定」が38.4%、「未定」が17.9%、「採用しない」が15.3%となった。

1年前の「令和7年度(2025年度)の採用予定」についての調査と比較して「中途採用を予定」が15.6%上昇、「採用しない」が5.4%上昇、「未定」が1.3%上昇した一方、「新規学卒者の採用を予定」が3.3%低下した。

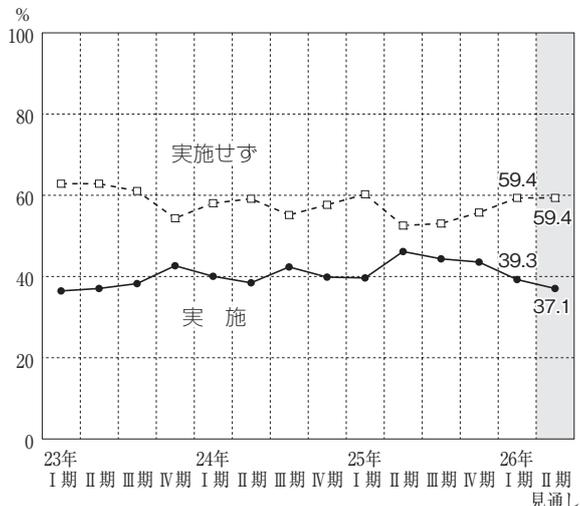
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



3期ぶりの悪化

◎業況判断

【今期】(2026年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲25.7 (前期比▲16.8ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなった 4.3% (前期比▲10.0ポイント)
- ・悪くなった 30.0% (前期比+ 6.8ポイント)
- ・変わらない 65.7% (前期比+ 3.2ポイント)

＜業種別＞

- ・前期比改善：1業種(「鉄・非鉄金属」)
- ・前期比悪化：7業種(「化学・石油」「機械」「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」「窯業・土石」「その他」)

受注が減少したことで、「機械」が悪化したほか、物価上昇により個人向け製品の売上が芳しくなかった「化学・石油」も軟調であり、全体の業況判断BSIも悪化した。

【来期】(2026年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲10.1 (今期比+ 15.6ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなる 11.6% (今期比+ 7.3ポイント)
- ・悪くなる 21.7% (今期比▲ 8.3ポイント)
- ・変わらない 66.7% (今期比+ 1.0ポイント)

＜業種別＞

- ・今期比改善：4業種(「化学・石油」「機械」「木材・家具」「印刷・出版」)
- ・今期比悪化：1業種(「食料品」)
- ・今期比不変：3業種(「鉄・非鉄金属」「窯業・土石」「その他」)

一部自動車メーカーの生産回復を背景に「機械」の改善が見込まれているほか、売上高、収益ともに回復の兆しがみられる「木材・家具」も上向くとみられ、全体の業況判断BSIも改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲14.3 (前期比▲10.7ポイント)

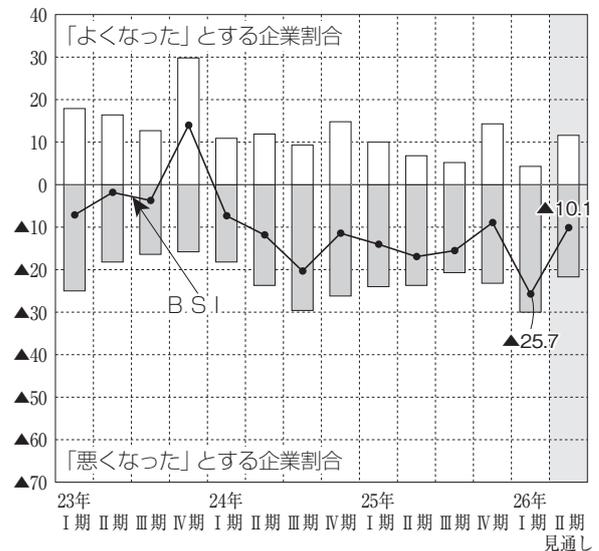
収益BSI：▲30.0 (前期比▲12.2ポイント)

【来期】

売上高BSI：+ 4.3 (今期比+ 18.6ポイント)

収益BSI：▲11.4 (今期比+ 18.6ポイント)

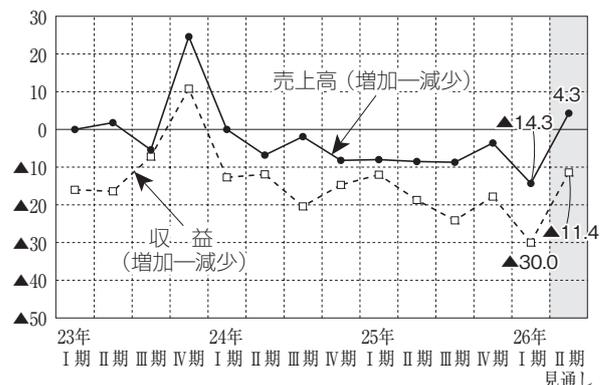
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2025年 III 期	2025年 IV 期	2026年 I 期	2026年 II 期見通し
化学・石油	0.0	0.0	▲25.0	▲14.3
鉄・非鉄金属	▲40.0	▲40.0	▲27.3	▲27.3
機 械	▲ 5.0	▲ 6.2	▲25.0	10.0
食 料 品	▲ 8.4	8.3	0.0	▲ 7.1
木材・家具	▲66.7	0.0	▲40.0	20.0
印刷・出版	▲40.0	▲50.0	▲80.0	▲60.0
窯業・土石	0.0	0.0	▲33.3	▲33.3
そ の 他	▲33.3	▲20.0	▲25.0	▲25.0
製 造 業	▲15.5	▲ 8.9	▲25.7	▲10.1

売上高と収益 (B S I)



卸売業は悪化、小売業は前期と同水準

◎業況判断

【今期】(2026年1～3月期〈I期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲19.2 (前期比▲12.9㊦)

<内訳>

- ・よくなった 7.7% (前期比▲4.8㊦)
- ・悪くなった 26.9% (前期比+8.1㊦)
- ・変わらない 65.4% (前期比▲3.4㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ±0.0 (前期比±0.0㊦)

<内訳>

- ・よくなった 23.3% (前期比+3.3㊦)
- ・悪くなった 23.3% (前期比+3.3㊦)
- ・変わらない 53.3% (前期比▲6.7㊦)

卸売業、小売業ともに売上高・収益BSIが悪化し、卸売業の業況判断BSIは悪化したが、小売業は前期同水準を維持した。卸売業では、物価上昇による諸経費の増加が一部企業の収益を圧迫した。

【来期】(2026年4～6月期〈II期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲15.4 (今期比+3.8㊦)

『小売業』

業況判断BSI : +3.3 (今期比+3.3㊦)

業況判断BSIは、卸売業、小売業ともに改善の見通し。特に卸売業では、売上高・収益BSIの大幅な改善が見込まれている。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲26.9 (前期比▲39.4㊦)

収益BSI : ▲34.6 (前期比▲47.1㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲11.5 (今期比+15.4㊦)

収益BSI : ▲15.4 (今期比+19.2㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲3.2 (前期比▲23.2㊦)

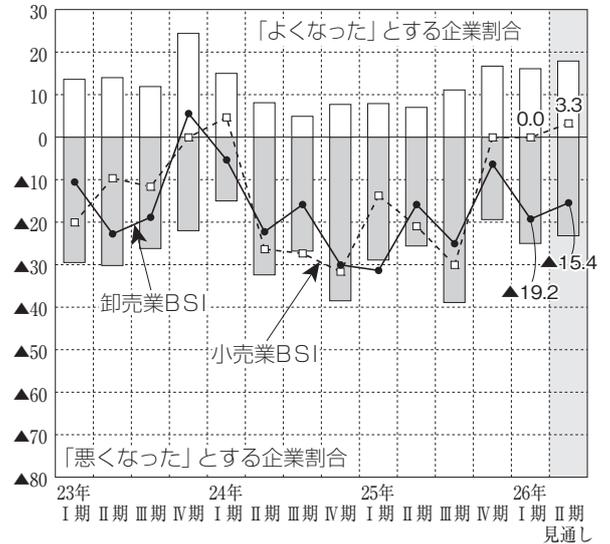
収益BSI : ▲9.7 (前期比▲9.7㊦)

【来期】

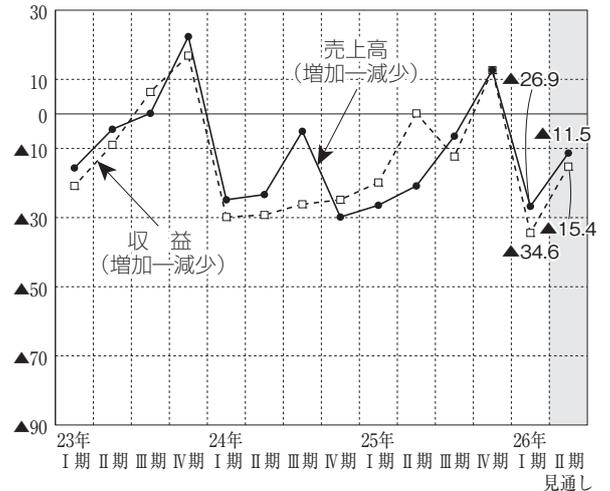
売上高BSI : ▲6.2 (今期比▲3.0㊦)

収益BSI : ▲3.2 (今期比+6.5㊦)

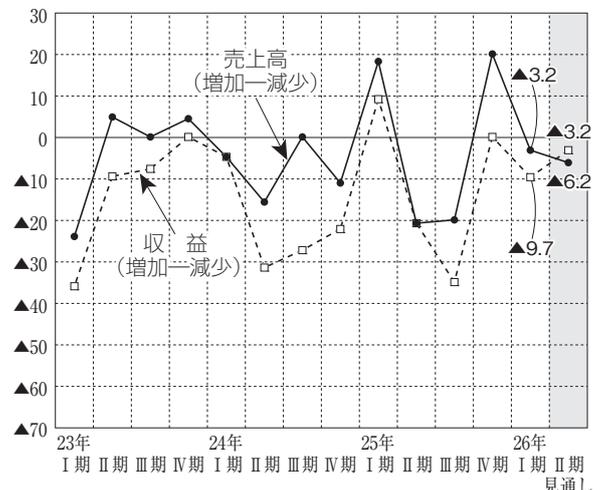
業況判断 (BSI)



【卸売業】売上高と収益 (BSI)



【小売業】売上高と収益 (BSI)



3期ぶりの悪化

◎業況判断

【今期】(2026年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI : ▲ 5.6 (前期比▲ 5.6㊦)

<内訳>

- ・よくなった 11.1% (前期比+ 1.6㊦)
- ・悪くなった 16.7% (前期比+ 7.2㊦)
- ・変わらない 72.2% (前期比▲ 8.8㊦)

人手不足や受注量の減少を背景に、業況が「悪くなった」と回答する企業の割合が上昇し、業況判断BSIは3期ぶりに悪化した。

【来期】(2026年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI : ▲ 5.5 (今期比+ 0.1㊦)

<内訳>

- ・よくなる 13.9% (今期比+ 2.8㊦)
- ・悪くなる 19.4% (今期比+ 2.7㊦)
- ・変わらない 66.7% (今期比▲ 5.5㊦)

来期は業況の改善につながる好材料が乏しく、業況判断BSIは今期と同水準で推移する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲ 5.4 (前期比▲29.2㊦)

収益BSI : ▲ 2.7 (前期比▲26.5㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲ 8.6 (今期比▲ 3.2㊦)

収益BSI : ▲14.3 (今期比▲11.6㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI : + 2.8 (前期比+12.3㊦)

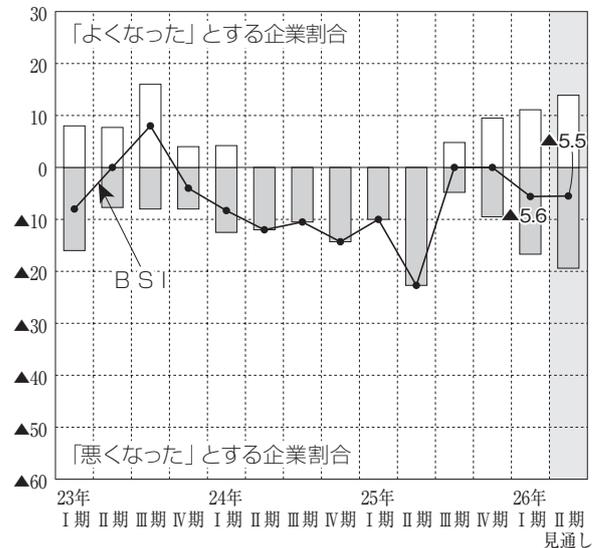
雇用者数の現状BSI : ▲73.0 (前期比+ 3.2㊦)

【来期】

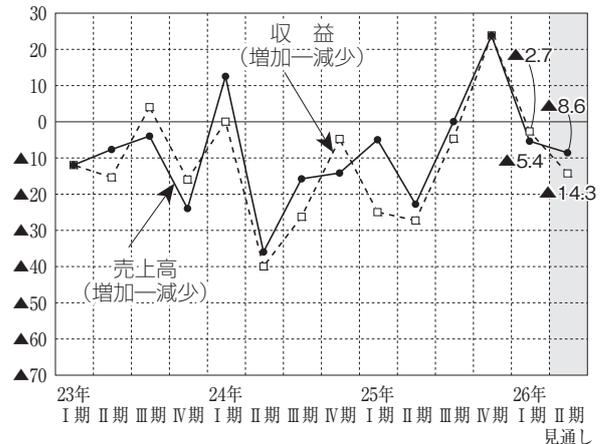
所定外労働時間BSI : ▲11.1 (今期比▲13.9㊦)

所定外労働時間BSI・雇用者数の現状BSIはともに改善したものの、約7割の企業が従業員数が不足していると回答しており、依然として人手不足感は強い。

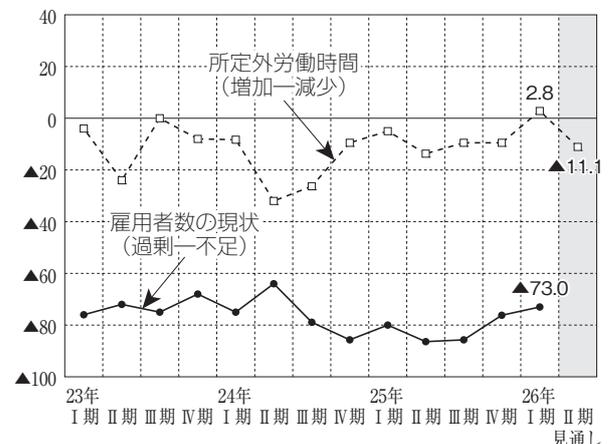
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



2期ぶりの悪化

◎業況判断

【今期】(2026年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：± 0.0 (前期比▲21.2ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなった 17.9% (前期比▲15.4ポイント)
- ・悪くなった 17.9% (前期比+ 5.8ポイント)
- ・変わらない 64.1% (前期比+ 9.6ポイント)

業況判断BSIは2期ぶりの悪化となった。

サービス業のうち観光関連の18社では、「よくなった」と回答した企業は前期比23.6ポイント減の17.6%、「悪くなった」と回答した企業は同5.9ポイント増の23.5%となった。特に、宿泊業のオフシーズンによる需要減少が観光関連の悪化につながった。

観光関連以外の22社では、「よくなった」と回答した企業は18.2%、「悪くなった」と回答した企業は13.6%だった。

【来期】(2026年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲ 2.6 (今期比▲ 2.6ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなる 17.9% (今期比± 0.0ポイント)
- ・悪くなる 20.5% (今期比+ 2.6ポイント)
- ・変わらない 61.5% (今期比▲ 2.6ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：± 0.0 (前期比▲36.3ポイント)

収益BSI：▲ 5.0 (前期比▲26.2ポイント)

【来期】

売上高BSI：+ 5.0 (今期比+ 5.0ポイント)

収益BSI：▲ 7.5 (今期比▲ 2.5ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

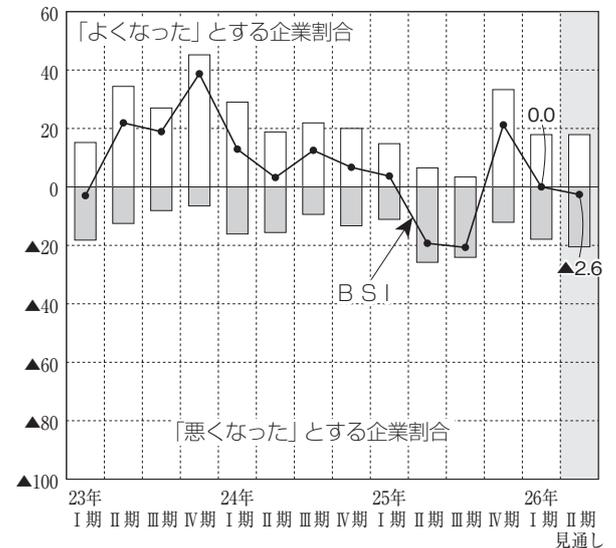
所定外労働時間BSI：▲ 7.6 (前期比▲16.7ポイント)

雇用者数の現状BSI：▲56.4 (前期比+ 4.2ポイント)

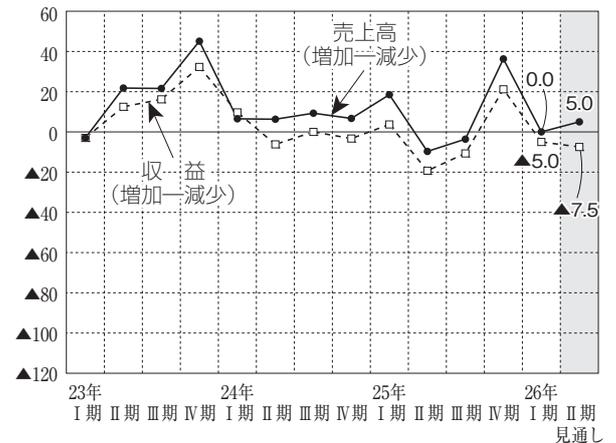
【来期】

所定外労働時間BSI：▲ 7.9 (今期比▲ 0.3ポイント)

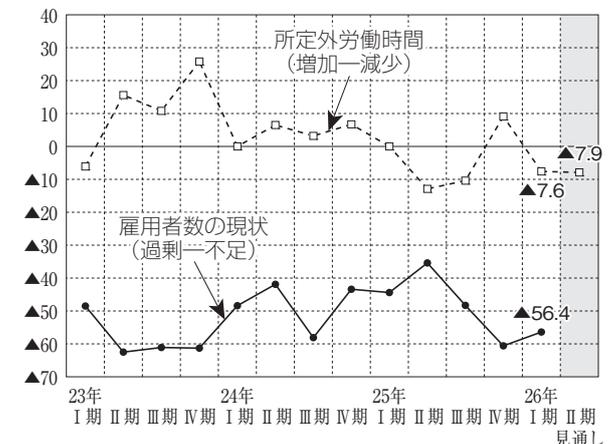
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2026年2月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業415社

◎回答企業数 229社

・回答率 55.2%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	7.9%
資本金1千万円～1億円未満	62.0%
資本金1億円以上	11.4%
無回答	18.8%